

Y18c 体感教室「虹で宇宙をながめてみよう」

五島 正光(巣鴨中学高校)、原田 郁子(JST)、新井 達之(葛飾区郷土と天文の博物館)

「虹で宇宙をながめてみよう」と題した天文教室を開催した。対象は中学生と高校生、会場は葛飾区郷土と天文の博物館である。期間は3日間で2004年7月29-31日と12月23、25、26日に開催した。2005年3月29、30、31日にも開催する予定である。これまでの2回に参加した生徒は、中学生が4名、高校生が10名である。

きっかけは日本HOU協会に属している高校の生徒を対象に、2000年に始めた、太陽望遠鏡と高分散分光器によるFITS画像を解析し、太陽の自転速度を求める観測実習である。その成果は、2001、2003、2004年の3回のジュニアセッションで発表されている。この観測実習の機会を多くの生徒に提供することと、様々なスペクトルの観察を体験してもらうことを意図して、この天文教室を企画した。さらに日本HOU協会によるからかニ星雲の膨張速度を求める教材、PAOFITSによるIa型超新星の距離を求める教材などを取り入れて3日間の催事として行った。

募集に際してはポスターを制作し、東京都の東部、千葉県市川市、松戸市の中学校と高校、計290校に配布した。また、天文雑誌や科学雑誌に募集記事の掲載を依頼した。さらに複数のMLに募集案内を送信した。本年会では天文教室の内容と参加生徒の感想を紹介し、それぞれの募集方法の効果をふまえた次年度の実施案について発表する。なお、この天文教室は、子どもゆめ基金の助成活動である。